

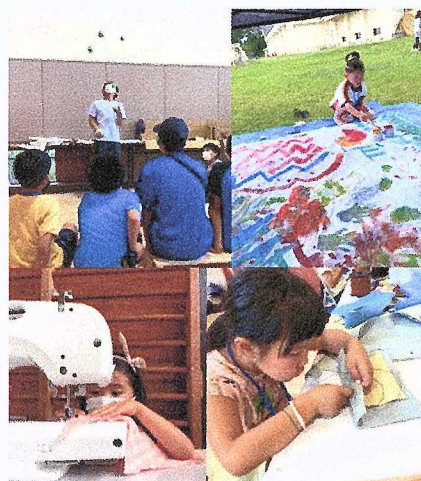
(様式第 11 号) (第 14 条関係)

## 令和 4 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	軽井沢こどものまちプロジェクト
団体名 (連絡先)	こどもまちづくり部 (代表：松浦麻衣子)
総事業費	514,979 円 (うち補助金：250,000 円)

### 事業内容

「こどものまち軽井沢」は、ドイツのミュンヘンで 40 年にわたり続いている「ミニ・ミュンヘン」をモデルとしたイベントで、子どもたちが仕事をして、お給料をもらい、税金をおさめたら残ったお金で遊んだり、買い物をしたり、起業したり、独自通貨を使って社会のしくみを体験しながら遊びます。8 月の 5 日間、軽井沢中部小学校を舞台に、学校や学年をこえて町内の小学生が集い、子どもたちの自主性に任せた子どもだけのまちをつくりました。



### 事業効果

初日から予想を上回る子どもたちが集まり、失業者続出の活気あふれるスタートとなりました。自分の得意を生かしたり、初めてのことにチャレンジしたり、自由に発想して大人の想像を超える面白いまちを作ってくれました。資金提供の協賛企業、物資提供の協力企業、おとなスタッフとして参加してくれた地域の方々、子どもたちに大いに頼りにされた軽高生の生徒、多くの地域の協力に支えられて、町のこどもの成長を育む場をつくることができました。

#### 【目標・ねらい】

- 子どもの自主性に任せる
- 学校・学年を超えて混ざる
- 興味や得意を生かす
- 生み出す喜び、変えられる実感が得られる場
- 子どもを地域で育む

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

### 今後の取り組み

継続することで「軽井沢の夏休みといえばこどものまち」というような夏休みを象徴する活動に育てていきたいと考えています。こどものまちはこたえのないまち。大人は口出し手出しせず見守る中、たくさん悩んで、ぶつかって、話し合っ、乗り越えて、化学反応を起こしながら、何かを生み出す喜び、自分が何かを変えられる実感を手にする機会にできればと考えています。何よりめいっぱい楽しんでほしいと願っています。

今年も軽井沢中部小学校を舞台に 8 月に開催することが決定しました。昨年参加の 6 年生からの希望もあり、今年も中学生の参加を検討しています。小・中・高がつながるイベントとして、地域の方々のご協力もひきつづき賜りながら、子どもたち一人ひとりが活躍できる可能性を拡張できるようイベント設計をしていきたいと考えています。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。